

気になる子・困った子についてのチェックシート

(東京学芸大学 杉森)

【どのような状態や症状でしょう？】

問題行動が出るのは、どんなときでしょう？

問題行動が出ないのは、どんなときでしょう？

【気になる子・困った子を見るとき視点】

どんな時に集中しているでしょう？(集中できる理由・場面を見つけて集中できる機会を増やす)

文字認識や語彙力はどれくらいでしょう？(つまづきの段階を探り、できることからやらせてほめる)

どんなことに興味を持っているでしょう？(会話などを通じ、興味を掻き立て、本にいざなう)

なぜ本が苦手なのでしょう？(本人の困り感を知って対処。わからない・興味が持てない・怒られた、など)

仲の良い子は誰でしょう？(友だちからその子の長所を聞くと、いいところが見える。友達の言葉は心に入る)

苦手な子はいるでしょうか？(苦手な子がいることで、集中できないこともある)

周囲の子は受容的でしょうか？否定的・拒否的でしょうか？(居場所感がないときは活躍の場を設ける)

担任の先生からは、どう思われているでしょう？(担任が否定的なときは、良いところを見つけてほめる)

知力はどれくらいあるでしょう？(知力に応じた読書の提案)

本人は、どうなりたいと思っているのでしょうか？(問題の認識度により、小さい目標を立て自分で決めさせる)

本人ができることから少しずつ目標設定してあげているでしょうか？

本人は、なぜ「問題行動」をとると思っているのでしょうか？(本人の視点に寄り添い、一緒に考える)

その子にどんな感情を持っているでしょう？(大人が感情的になり心の目が曇ると二次障がいリスク)

どんなに悪いこと(問題行動)をしても、その子を好きで信じてあげられているでしょうか？

その子の本来の無限の可能性を信じているでしょうか？(良いイメージを持ち、信じ続ける大人が必要)

本人は頑張っているのに、間違ったやり方をしてないでしょうか？(正しいやり方を一緒に見つける)